

令和7年度 飯田市「埋立ごみ」組成調査の結果

調査概要

令和7年6月9日から7月28日にかけて、「埋立ごみ」の組成調査を実施しました。市内のごみ集積所から、調査目的で無作為に回収した埋立ごみ（各回10袋）の分別状況を確認しました。

調査結果

「埋立ごみ以外のごみ」の混入割合（重量比）は、前年度と比べて5.2ポイント減少し、全体の43.5%となっています。今回の調査では、紙くず・繊維類・皮革類、茶色のガラスびんがわずかに増えましたが、透明・その他色のガラスびん、ビニール製品や汚れのあるプラスチック、金属類、乾電池・ライターは減少しました。

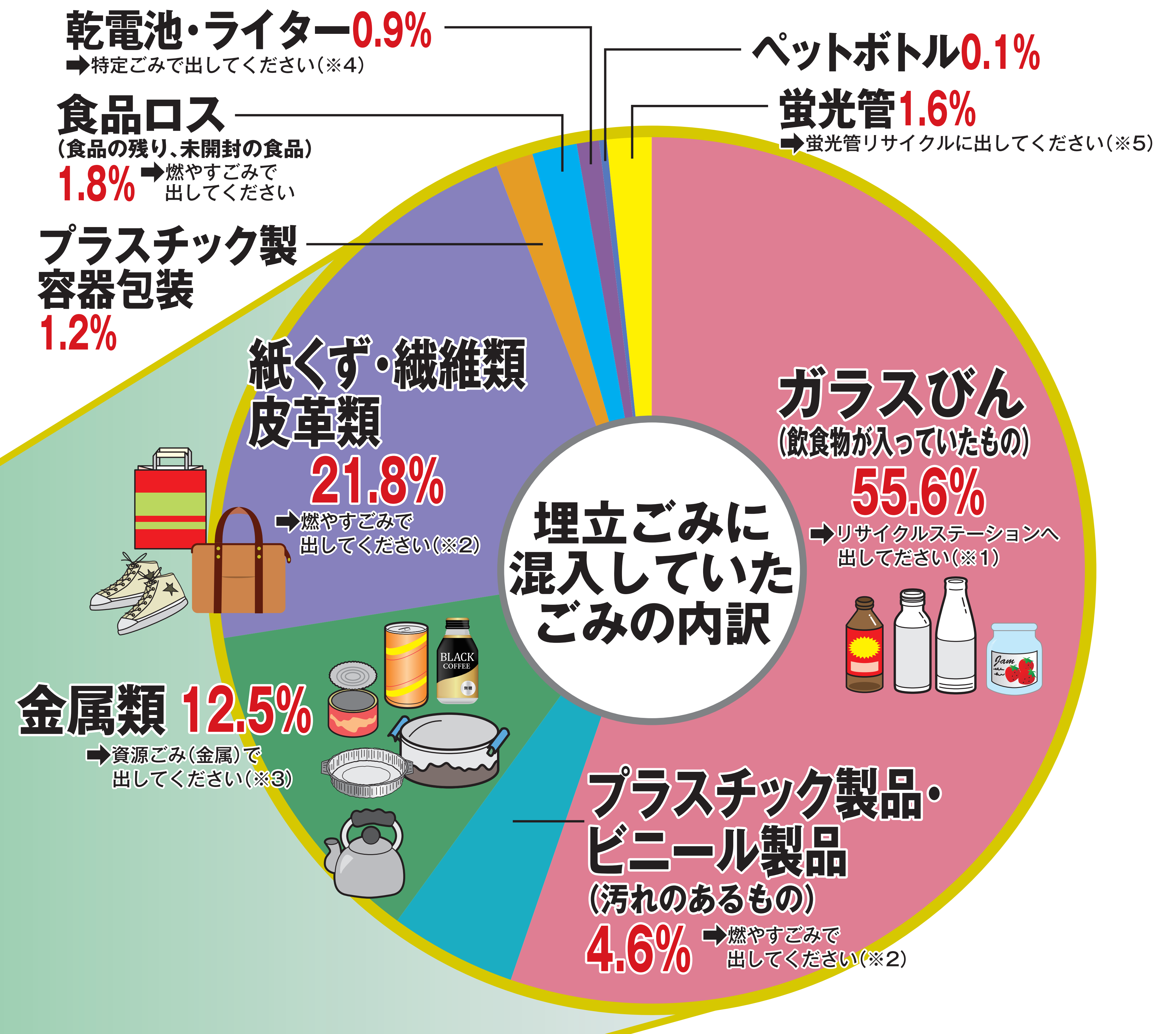
正しく分別されず、埋立ごみに混入していたごみの割合

43.5%

調査した埋立ごみの状況

56.5%

正しく分別されていた埋立ごみの割合



特に多く混入していたごみの正しい出し方

- ※1 ジュース、油、調味料、栄養ドリンクなど、飲食物のガラスびんは**リサイクルステーション**へ
→ラベルはそのまま、びんの中を水で洗ってください。新たなびんや道路の舗装材に再生されます（汚れが取れない場合や割れている場合は、埋立ごみ）。
- ※2 皮革製品・ゴム製品、汚れが取れないプラスチック製品・ビニール製品は**燃やすごみ**へ
→靴や鞆などの皮革製品、ホースなどのゴム製品は燃やすごみです。植木作業や調理に使用した汚れのあるプラスチック製品の分別誤りが多く見られました。
- ※3 電源コード、スプレー缶、フライパン、傘の骨、アルミホイルは**金属資源**へ
→鍋やフライパンなどの調理器具やアルミホイル、家電製品の電源コードは**金属資源ごみ**です（錆びや汚れがあってもリサイクル可能）。スプレー缶類は必ず、①中身を出し切り、②屋外の風通しの良いところで、缶に穴を開けて、③**金属資源ごみ**に出してください。
- ※4 乾電池、ライター、本体から取り外せない充電電池内蔵の家電は**特定ごみ**です。
→電子タバコ、ハンディファン、ワイヤレスイヤホン、モバイルバッテリーなど充電電池内蔵型の家電は特定ごみです。昨今、リチウムイオン電池内蔵の家電が普及しています。気温の高い環境下や衝撃が加わると発火の危険があります。ごみ収集車や処理施設の安全のため、必ず特定ごみに出してください（膨張や水濡れしていると特定ごみでは出せません。飯田市環境課へご相談ください）。くわしくは飯田市HPをご覧ください。
- ※5 蛍光管は**店頭回収**へ
→市内の電気屋さん、ホームセンターなど、蛍光管の販売店舗で回収しています。回収協力店は、『ごみ出しガイドブック』や飯田市HPをご覧ください（割れた蛍光管は埋立ごみです）。



まとめ

今回の調査は昨年度と比べて、紙くず・繊維類・皮革類の割合が4.7%、茶色のガラスびんの割合が2.7%増加しました。そのほか透明・その他色のガラスびん、金属類、乾電池・ライターなどは減少し、特にビニール製品や汚れのあるプラスチックが3.9%減少しました。引き続き分別へのご協力をお願いします。分別に迷うものは、『ごみ出しガイドブック』や「ごみ分別アプリさんあ〜る」が便利です。ぜひご活用ください。



※端数処理により合計が一致しないことがあります。